

中国イノベーション大学・企業訪問研修(案)

(参加のご案内)

2019年7月

公益社団法人 科学技術国際交流センター

【実施概要案】

研修名	中国イノベーション大学・企業訪問研修
日程	2019年9月22日～25日(3泊4日)
目的	日本の科学技術関係者が発展の著しい中国イノベーション大学・企業・産業基地を視察し、関係者と交流することにより、①日中企業間の連携の促進、②中国での日本の企業等の活動の発展、③日中協力によるベンチャー企業のスタートアップの促進、などの日中間の連携の発展につなげる。
対象	中国の産業政策・ベンチャー企業の発展に関心のある日本企業の経営者及び大学関係者ほか
定員	10名～30名
費用	435000円/人(税込み:食事代、宿泊代、往復エコノミ飛行機代(東京⇄北京、または関空⇄北京)、専用バス代、プログラム調整費、通訳費を含む)
プログラム (予定)	<p>初日:朝東京出発、昼頃北京到着 同行通訳者と一緒に専用バスにてホテルへ移動 宿泊ホテルでチェックイン 中国文化体験 夕方 交流会(現地の大学担当者、研究者ほか)</p> <p>2日目:午前 清華大学訪問 ● 科学研究院の訪問 ● 清華大学サイエンスパーク、啓迪ホールディングス訪問 午後 ベンチャー企業(2社)訪問 ● 北京茶优爱智能互联科技有限公司(注1) ● 明略科技集团(注2) 夕方 交流会(現地の大学と企業の関係者)</p> <p>3日目 午前 中関村ライフサイエンスパーク(注3) 午後 中関村ソフトウェアパーク(注4) 夕方 交流会(現地の企業の経営者、管理者ほか)</p> <p>4日目 午前 中関村創業ストリート視察(注5) 午後 専用バスにて空港へ 北京より羽田空港へ 夕方 東京到着後 入国手続き後解散</p>

【注】訪問先ベンチャー企業紹介

1. 北京茶優愛インテリジェント技術有限会社

北京茶優愛インテリジェント技術有限会社は自動車のインテリジェントや車載ネットワークに取り組む会社である。[Two Screen, One Cloud] で自動車生産者や端末ユーザーに安全性の高いシステムが提供されておる。

2. 明略科技集団

明略科技集団は北京清華サイエンスパークに立地するベンチャー企業である。主な業務内容は、AI を活用して、データ、画像、動画、文字ファイルを処理すること、金融機関向けマーケティングソリューション、データインテリジェント分析・管理と応用、及び大手企業にビジネス解決案を提供することなどである。

3. 中関村ライフサイエンスパーク

中関村ライフサイエンスパークは中国初の国家ハイテク産業開発区であり、中国のシリコンバレーと称される中関村サイエンスパークに設置された。ライフサイエンスパークはライフサイエンス研究、医学研究、生物技術および生物製薬などの研究開発とイノベーションを中心に運営されるハイテク産業パークである。以人为本、開放创新（人を根本として、開発イノベーション）の理念で、人間と自然の交流と調和を強調し、環境と緑景観のエコロジーをアピールし、持続可能な開発のためのエコロジーパークになることを目指している。本パークでは、生物製薬プロセス、薬品検査システム、新薬申請及び認定業務、薬品販売プロセスなどの情報が提供できる。

4. 中関村ソフトウェアパーク

中関村ソフトウェアパークは、2000年に北京市政府の援助のもとで設立された。中国最大のハイテクパークの心臓部として位置づけられ、中間村科技園区の一部を構成している。コンピュータ関連産業を発展させるために、政府によって国家ソフトウェア産業基地および国家ソフトウェア輸出基地に認定されている。有名な企業ではオラクル、IBM、シーナンスなどが入居しているほか、60以上の中小企業がインキュベーションセンターでビジネスを開始している。ここでは、企業誘致や創業支援を行ったり、人材を確保したりするために優遇政策を取っている。ベンチャー資金の確保や資金援助を行い、増値税および所得税の減免、教育機関の整備や海外留学や研修制度を用意するなどを行っている。さらに「孵化器」と呼ばれるインキュベータにより、起業時の資金融資、オフィスの無償提供、管理人員の無償派遣、販路提供などの支援も行っている。

5. 中関村創業ストリート

中関村創業ストリートは中国初のイノベーション・創業を主題としての特徴的なストリートである。資源の集約をはじめ、産業資源、全世界資源の集約を拡大している。完備かつ活気に満ちたイノベーション・創業エコロジーを築いている。現在、45個国内外の優秀な創業サービス組織、50以上の大手会社、50以上の大学・研究開発機関、及び200以上のベンチャー投資機構と連携して、特徴的なイノベーション創業サービスを提供している。本創業ストリートは成立したから現在に至るまで、約1900個のスタートアップ企業の起業を支援した。その中、海外から帰国した団体222個、融資団体743個、ユニコン会社2個が含まれている。

お申込み・お問合せ

公益社団法人 科学技術国際交流センター (JISTEC)

事務局担当 秦 (しん)・神風 (じんぷう)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3丁目38番 第5東ビル901

TEL: 03-5825-9391

FAX: 03-5825-9392

E-mail: jinpu@jistec.or.jp

清華大学国家大学サイエンスパーク

清華大学国家大学サイエンスパーク

名称	中国語 清華科技园	
	英語 Tsinghua Science Park	
住所	北京清華科技园・創新大厦A座16層	
HP	http://www.thsp.com.cn/	
認定	年月	面積
運営	啓迪有限公司	連絡

パークの概要

1994年、既存の清華大学科学技術園発展センターを始めとし、清華大学が、中国で最も革新的なサイエンスパークを目指して設立を開始した。独自の技術的・人的資源と革新的な企業と若い企業家とをつなぎ、秀逸なサービスをハイテク企業や研究開発企業に提供することで、国内外のベンチャー企業ビジネスの拠点となっている。1988年に主要な建設が完了し、北京トップの大学や研究所が位置する中関村における最も先進的なビジネスプロジェクトの一つとなった。中国の新しい「革新的政策」による恩恵に関心を持つ国際的な企業がこの創作的な環境に魅力を感じている。

取組み分野・領域、経済効果、社会的効果

2002年、清華大学国家大学サイエンスパークは、その長期的な成長と発展を以って「国家ハイテクイノベーションサービスセンター」と称された。同年、同パークを代表する産業領域を拡大することを目的として「清華イノベーションパークバイオテクインキュベーターセンター」が設立された。また、その持続的及び先駆的なビジネスコンセプトに対し、オランダ科学連盟により「2002年ベスト科学インキュベータ」を受賞し、同大学サイエンスパークの国際的な成功と認識とを証明した。2003年には、中国のサイエンスパークとして最初の国際科学技術協会のメンバーとなった。

入居企業の現状

IT、サービス、光学機器、バイオ製薬、金融等の分野に属する企業、Atca Technology (Beijing) Co., Ltd., Beijing Injoy Technology Co., Ltd.等、また多国籍企業として、Sun Microsystems, Inc., Schlumberger Co., Ltd. (SLB)、NEC Corporation、P&G Co., Ltd., Toyota Automotive Corporation、Shu.com Inc.等、多数あり。

関連施策、特許等の成果

東芝は同パークにて中国清華大学とエネルギーや環境の共同研究センターを設立した。

その他の特記事項

中関村サイエンスパーク

中関村サイエンスパーク

名称	中国語	中関村科技園区		
	英語	Zhongguancun Science Park (Z-Park)		
住所	北京市海淀区蘇州街36号			
HP	http://www.zgc.gov.cn/			
認定	1988年		面積	232平方キロ
運営	同パーク管理委員会		連絡	

開発区の概要

中関村サイエンスパークは中国初の国家ハイテク産業開発区として大きな成功を収めて国内外からの注目を集めており、中国のシリコンバレーとも称される。現在、世界の一流パークを目指し、電子情報、バイオ製薬、新エネルギー、フォトエレクトロニクス、新素材、環境保護等の分野に取り組み続けている。同サイエンスパークは現在10のサブパーク(大興バイオ医薬産業基地を含む)で構成されており、国家ソフトウェア産業(輸出)基地、国家バイオ医薬産業基地、国家工程技术イノベーション基地、国家ネットワークアニメ産業発展基地としても認定されている。また、国家インキュベータも多数設けられている。

経済効果、社会的効果・地域振興効果

Lenovo、Founder、UFsoft、HanWang、Sinovac、Sohu、Sina、Baidu、Vimicro、Aigo等の2万近くのハイテク企業があり、ハイテク産業は過去10年以上の間、年間成長率25%以上を維持している。2007年、開発区のハイテク企業の総生産高は9035億元を超えており、これは国家全体のサイエンスパークの総収入の7分の1に等しい。

進出した外資/日系企業の例示

Microsoft、IBM、AMD、Motorolaの他、前記した諸分野の世界ランキング上位500の企業の多くが子会社や研究所を設立している。

関連施策、特許等の成果

同開発区には、北京大学や清華大学を始めとする中国トップの大学が30以上、中国科学院や中国工程院等の200以上の研究所、アジア最大の国家図書館、特許庁がある。中関村において、中国語のレーザータイプセットシステムが北京大学のグループによって発明され、中国のプリント産業にとっての新たなオプトエレクトロニクスの時代を先導した。21世紀初期には、中国の単独特許を有する最初のCPUチップが中関村で開発され、これにより完全に輸入チップに頼っていた時代が終わった。特許を基にした業界標準、国家標準、国際標準への取り組みも大きな成果を得ている。

その他の特記事項